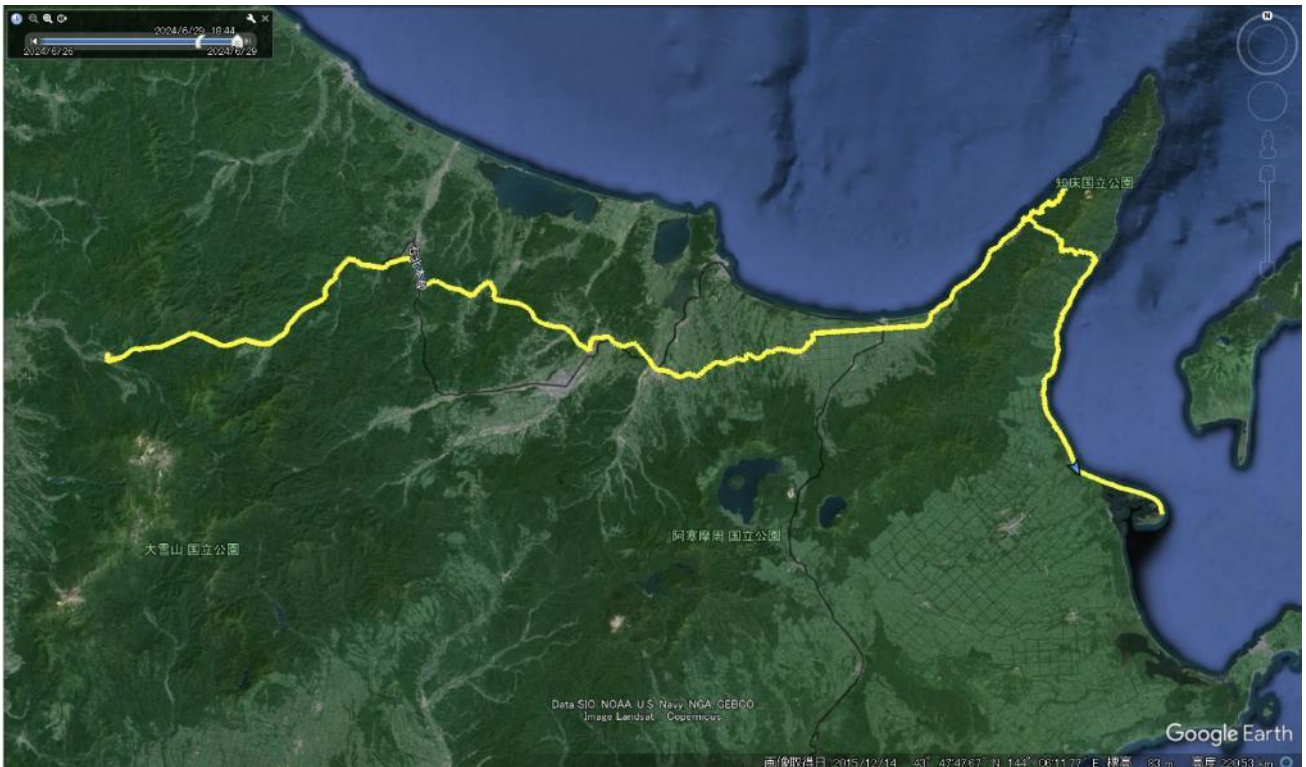


☆4日目（6月29日）：上川から標津まで



行程地図（4日目）\_記録 OLYMPUS TOUGH TG-6

前日に買っておいたパンと豆乳で朝飯を済ませて、早朝に出発。東に向かったが、相変わらずナビに無料高速に導かれて、遠軽まで高速で走った。遠軽の先は工事中のようで、「道の駅 遠軽 森のオホーツク」にどうやって入っていいのかわからず、寄らずに先に進んだ。高速を降りたら、北海道らしい田園や牧場風景が続いた。



写真 87. 朝の高速



写真 88. ジャガイモ畑？

平らな大地、ついバイクを停めて写真が撮りたくなる。東に進むと右手に斜里岳が見えてきた。知床が近づいてきているのが分かりわくわくしてくる。43年前は、時間の都合でこの先の斜里町で南下して、知床には行けなかった。今回は、知床もリベンジである。



写真 89. 北海道らしい風景



写真 90. 斜里岳が見えてきた

国道 334 で斜里に出るまでは、田園地帯をまっすぐな道が続く、これまた北海道景色が続く。斜里で給油して、いよいよ知床に向かう。



写真 91. 木のトンネル

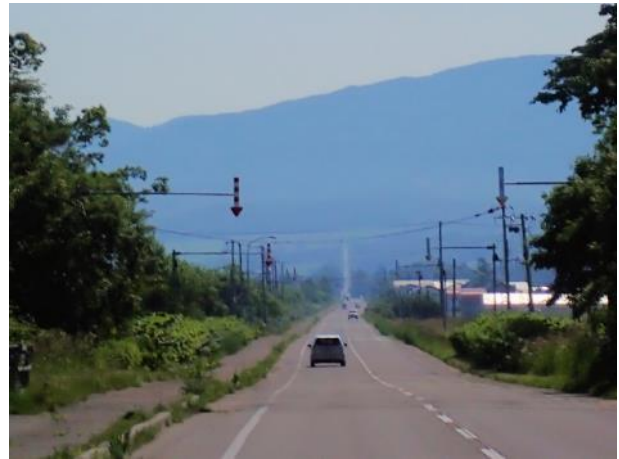


写真 92. 延々と続くまっすぐな道

知床半島に入ると左に海を見ながら快適な道が続く。時折、半島先の山並みが見え隠れする。始めにオシンコシンの滝見学に寄った。



写真 93. 快適な国道 334

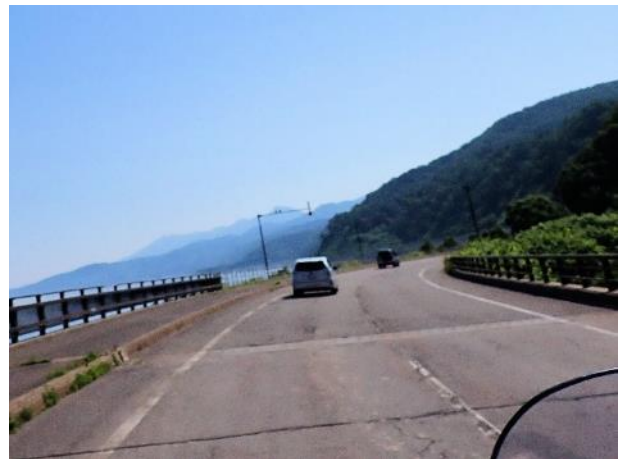


写真 94. 遠くに知床の山並み

オシニコシの滝は駐車場から徒歩で少し上がった所であって、結構平べったい滝だが、前まで行くとしぶきが飛んできて、暑い日なので気持ち良かった。駐車場の脇で、「エゾシロチョウ」の番を見つけた。

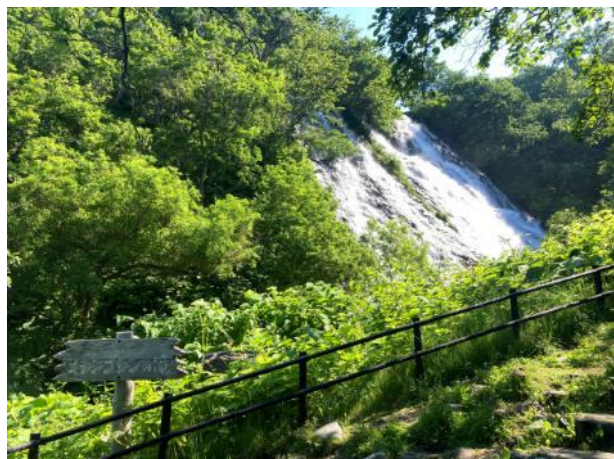


写真 95. オシニコシの滝



写真 96. エゾシロチョウ

奇岩などを横目に快適に走っていると、「道の駅 うとろシリエトク」に到着。ここで、知床のお土産を購入。道は、土曜日だけど9時頃はまだ空いている。



写真 97. 奇岩



写真 98. 道の駅 うとろシリエトク

「道の駅 うとろシリエトク」に併設の「知床世界遺産センター」では、知床に生息する動物の「うんち展」をやっていた。



写真 99. 知床世界遺産センター



写真 100. 森の動物「うんち」展

国道 334 を進み、知床自然センターのところで、道道 93 知床公園線を進んだ。海から離れて知床の自然の中に作られたきれいな観光道路。熊横断注意の標識が出てきたので、ヒグマが見れるか期待したが、今回の旅で生きたヒグマを見ることはなかった。



写真 101. 熊横断注意の標識



写真 102. きれいな観光ロード (1)



写真 103. 知床の山々



写真 104. きれいな観光ロード (2)

道道 93 は、知床五湖への分岐のからは、未舗装路となる。予想に反して規制がなく通行できたので、行けるとこまで行くことにした。交通量も少なく、道路は整備されていて走りやすい。



写真 105. 羅臼岳を望む



写真 106. 急に林の中となる

この道は、約 10 キロ入った先のカムイワッカの滝のところで通行止めとなっていた。滝まではそれなりの登山アイテムを準備していないと降りて行けそうもないので諦めて引き返した。終始フラットダートで羅臼岳やオホーツク海が見えたり、林の中を走ったり変化に富んでいて、バイクで走るには楽しい道だった。



写真 107. オホーツク海を望む



写真 108. 起伏もあるフラットダート

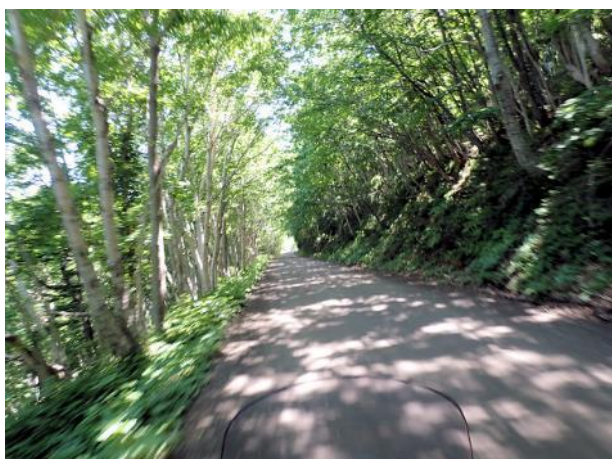


写真 109. 車も少なく快適



写真 110. 遂に終点



写真 111. 滝の入り口



写真 112. 現在地



写真 113. 戻り道



写真 114. 片道 10 キロのダート

時間が有ったので、林道を戻り舗装路に出てから、知床五湖フィールドハウスに向かった。ここは、バイクも駐車料金を 200 円取られる。知床五湖を回するには、有料ガイドツアーに参加しなくてはならず、次は午後の回しかなく諦めたが、無料で回れる遊歩道だけでも知床気分を満喫出来た。こけももサイダーを飲んだが、普通のサイダーだった。



写真 115. 知床五湖フィールドハウス



写真 116. こけももサイダー



写真 117. 地上高が高い遊歩道



写真 118. 知床五湖連山展望台



写真 119. 知床連山を望む

知床五湖を後にして、知床自然センターまで戻り、中の「BARISTART COFFEE SHIRETOKO」で昼食にエゾ鹿バーガーと珈琲のセットをいただいた。値段は 1,750 円、充分観光地価格だった。ポテトが付いていたから許そう。来ている外国人はアジア系より欧米系が多かった。食後に歩いてフレベの滝展望台まで行った。



写真 120. エゾ鹿バーガー

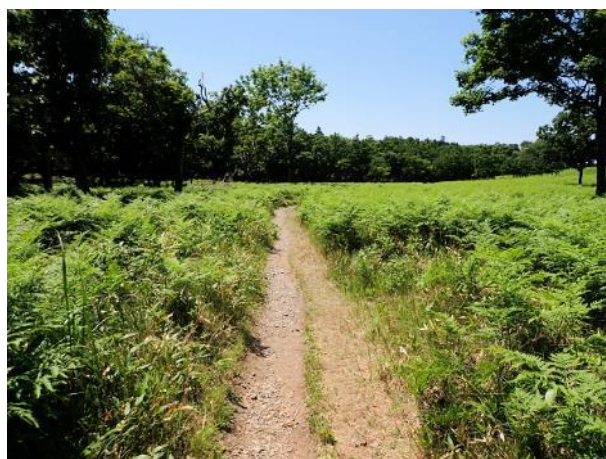


写真 121. フレベの滝への遊歩道



写真 122. 熊の出てきそうな草むら



写真 123. ビタキ

滝までの道は、途中でエゾシカ会ったり、今にも熊が出そうな草むらを抜けたり、十分に楽しめた。上から見下ろすフレベの滝には、しづきで出来た虹かかかり、きれいだった。



写真 124. 宇登呂灯台と知床連山を望む

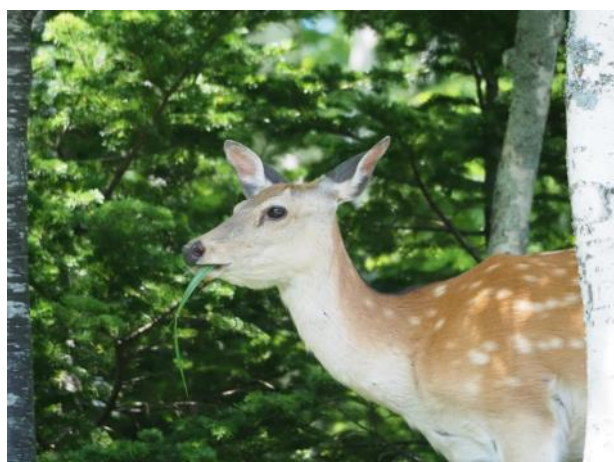


写真 125. 草を食べるエゾシカ



写真 126. フレベの滝展望台



写真 127. 右下にフレベの滝を望む

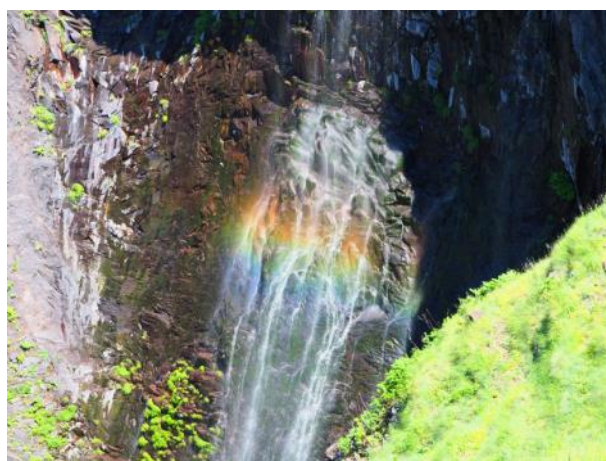


写真 128. しづきで出来た虹



この後は、半島の東側に向かう。羅臼側は寒いと、東から来たライダーが教えてくれた。確かに知床峠を過ぎた辺りから雲が出てきて、一気に気温が下がった。知床峠からは、残念ながら雲や霧で展望は望めなかった。



写真 129. 知床峠から羅臼岳を望む



写真 130. 北方領土は霞んでいた

羅臼の町に降りてから、国道 334 はいつの間にか、国道 335 に変わっていた。望郷の森と言ったところに入ったが、やはり遠景は霞んで見えなかった。この辺りは、北方領土が目と鼻の先なので、関連した施設や看板が多い。



写真 131. 羅臼町に降りていく



写真 132. 望郷の森

山から下りてくると、また気温が上がり暑くなったが、霧が取れず国後島は霞んでいる。



写真 133. 国道 335 を海に向かって降りていく



写真 134. こちらは太平洋



写真 135. 晴れると美しい海



写真 136. 羅臼町郷土資料館

標津町に出る前の羅臼町郷土資料館を見学したかったが休館日で閉まっていた。また、宿泊地の標津に早く着いたので、予定外の野付半島に向かった。野付半島は43年前のツーリングで訪れていたため今回予定に入れて無かった。太平洋と尾岱沼に挟まれた細い半島を進むとナラワラやトドワラが見えてくる。途中で鹿や狐が前に飛び出してきた。野付半島ネイチャーセンターに着いたら、少し冬毛がのこるキタキツネの夫婦なのか兄弟なのか仲の良い番が人目をばからず戯れていた。



写真 135. 野付半島の道道 950



写真 138. ネイチャーセンター駐車場



写真 139. 野付半島のキタキツネ



写真 140. 野付半島のキタキツネの番



写真 141. お土産の面白い熊顔マグネット



写真 142. 野付半島の碑

ネイチャーセンターの先は、野付埼灯台の手前まで車道があるので、行けるところまで行き、引き返した。



写真 143. 野付埼灯台の手前



写真 144. 尾岱沼と鹿

標津の「よしだ旅館」にチェックインして、近くの「しべつ海の公園」まで散歩をした。広い芝生広場と海には石で囲われたプールがあり、道路側にはオートキャンプ場がある大きな公園だった。宿の前の海岸には、波よけブロック上にウミネコが巣を作っていた。このウミネコ達は、夜通しミャーミャー鳴いてうるさかった。



写真 145. よしだ旅館



写真 146. 海の公園の芝生広場



写真 147. 海の公園の海水プール



写真 148. ウミネコ



写真 149. ウミネコの巣



写真 150. 宿の窓からの風景

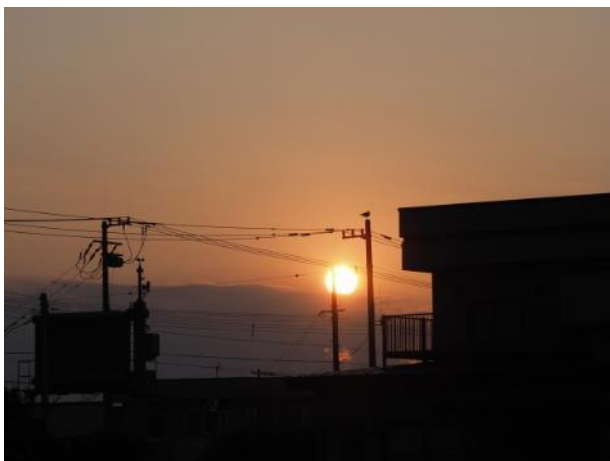


写真 151. 夕日



写真 152. 本日の夕飯

「よしだ旅館」は、古びた館で隣の部屋とはふすま 1 枚で仕切られているので気を遣う所だが、隣人がドアを開けっぱなしで寝てるようなワイルドなサイクリストでよかった。また経営者高齢化のため、今は食事提供をしていないが、すぐ裏にコンビニがあるので困らなかった。隣がガソリンスタンドというのも便利であった。